

令和5年2月22日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展

「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜 ―太田洋愛原画展―」

開催及び報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、2023(令和5)年3月14日(火)から4月9日(日)までの期間、下記のとおり、企画展「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜 ―太田洋愛原画展―」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち 3月13日(月)13時から14時30分の間、別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

日本のボタニカルアート（植物画）の先駆者、太田洋愛が描いた貴重なサクラの水彩画約100点を展示するとともに、その描画の素材となったサクラの押し葉標本のほか関連資料を公開します。展示する植物画の多くは、日本のサクラ研究の集大成ともいえる出版物『日本桜集』（文・大井次三郎 画・太田洋愛 1973年）の原画です。本企画展を通じてサクラの自然史研究における太田と大井の業績を紹介します。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。



‘鴨桜’（ひよどりざくら）
太田洋愛 作

記

【企画展名称】 企画展「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜 ―太田洋愛原画展―」

【開催場所】 国立科学博物館（東京・上野公園） 日本館1階 企画展示室

【開催期間】 2023(令和5)年3月14日(火)～4月9日(日)

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで。

【休館日】 毎週月曜日（3月27日、4月3日は開館） ※会期等は変更となることがあります。

【入館料】 一般・大学生：630円（団体510円）（税込）、高校生以下及び65歳以上無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。団体は20名以上。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/>

【主催】 国立科学博物館

【協力】 上野桜守の会、東京都立大学牧野標本館、練馬区立牧野記念庭園

【展示概要】 別添の本展チラシ参照

【お問合せ】 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9840、9883、9887、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

企画展
「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜 ―太田洋愛原画展―」
報道内覧会のお知らせ
2023(令和5)年3月13日(月)13時～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜 ―太田洋愛原画展―」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

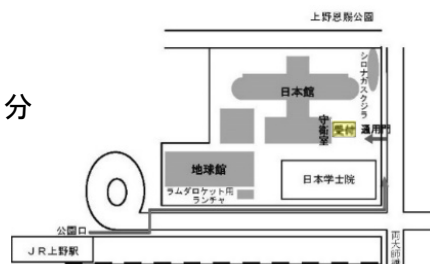
記

【日 時】 2023(令和5)年3月13日(月)
13時～14時30分(受付開始 12時30分～)

【会 場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20) 日本館1階企画展示室

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分
京成電鉄上野駅から徒歩10分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

12時30分～ 受付開始(受付場所: 日本館1階守衛室前)

13時～14時30分 報道内覧会

※13時から約30分間、本展の監修をした国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

【入館に際してのお願い】

- ・次の方は、ご参加をお控えください。
 - 平熱と比べて高い発熱がある
 - 咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛など風邪のような症状がある
- ・受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。
- ・会場内の「3密」を防ぐため、入場を制限する場合があります。
- ・間隔調整のため、各展示は譲り合ってご覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は **3月9日(木)午後5時まで**に、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「日本の桜」報道内覧会申込
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね3日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【本展監修者】



植物研究部 陸上植物研究グループ グループ長

田中 伸幸（たなか のぶゆき）

専門は植物系統分類学（種子植物、東南アジアのフロラ）。

熱帯には、まだまだ科学で認識されていない植物がたくさん存在すると推定されています。東南アジア大陸部をフィールドに、ショウガ科などを中心として種子植物の種の多様性を明らかにする研究をしています。



植物研究部 多様性解析・保全グループ グループ長

遊川 知久（ゆかわ ともひさ）

専門はラン科植物、熱帯の植物。

植物の多様性に関わる3つのテーマー多様性の実体把握、多様化の原因と過程の解明、多様性の保全—に興味を持って、ラン科を中心に研究しています。また絶滅のおそれのある種や遺伝資源を次世代に伝えるための活動を行っています。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。

(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent>)



①企画展「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜
—太田洋愛原画展—」チラシ



②‘鶯桜’（ひよどりざくら）
太田洋愛 作
（所蔵：国立科学博物館）



③‘天城吉野’（あまぎよしの）
太田洋愛 作
（所蔵：国立科学博物館）



④キンキマメザクラ
太田洋愛 作
（所蔵：国立科学博物館）



⑤ヤマザクラ
太田洋愛 作
（所蔵：国立科学博物館）



⑥‘アメリカ’
太田洋愛 作
（所蔵：国立科学博物館）

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当
電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898
E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展

ボタニカルアートで楽しむ

日本の桜

—太田洋愛原画展—

Japanese Cherry Blossoms

Illustrated by Ohta Yoai, a Pioneer of the Botanical Art in Japan

2023 (令和5)年 3月14日(火)～4月9日(日)

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階企画展示室

開館時間／午前9時～午後5時

※入館は閉館時刻の30分前まで

休館日／毎週月曜日

※ただし3月27日(月)・4月3日(月)は開館

入館料／一般・大学生630円(団体510円)

※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

※団体は20名以上

※高校生以下および65歳以上無料

主催：国立科学博物館

協力：上野桜守の会、東京都立大学牧野標本館、練馬区立牧野記念庭園

お問い合わせ

TEL：050-5541-8600(ハローダイヤル)

FAX：03-5814-9898

URL：<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。

※入館方法の詳細はホームページをご覧ください。



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

日本のボタニカルアート(植物画)の先駆者、
太田洋愛が描いた貴重なサクラの水彩画約100点を展示するとともに、
その描画の素材となったサクラの押し葉標本のほか関連資料を公開します。
展示する植物画の多くは、日本のサクラ研究の集大成ともいえる出版物
『日本桜集』(文・大井次三郎 画・太田洋愛 1973年)の原画です。
本企画展を通じてサクラの自然史研究における太田と大井の業績を紹介します。

第1章:サクラの自然史

日本に自生するサクラの種類やその故郷であるヒマラヤのサクラ、
日本で花開いた花見文化とその中で作出された園芸品種などを
標本や文献で紹介します。

第2章:桜のボタニカルアート

2-1 科学のための桜図 - 『日本桜集』までの道のり
日本のサクラの多様性を明らかにする研究の歴史の中で、論文などに印刷された植物画は、種類の特徴を正確に広く伝えることに大きな役割を果たしました。これまでサクラ研究のために描かれた代表的な図を展示します。

2-2 太田洋愛と大井次三郎

江戸時代に始まった日本のサクラの自然史研究は、国立科学博物館の名誉館員・大井次三郎と太田洋愛の共著『日本桜集』にまとめられました。ふたりの業績とサクラとの関わりを紹介します。

第3章:太田洋愛の桜図

『日本桜集』に掲載されたサクラの原画を多数展示するとともに、研究の証拠とするため、描画の素材となった枝から作製された貴重な押し葉標本を初めて公開します。

トピックス

サクラの葉、花、樹皮などの利用や世界のサクラの仲間について紹介します。

太田 洋愛(1910-1988)

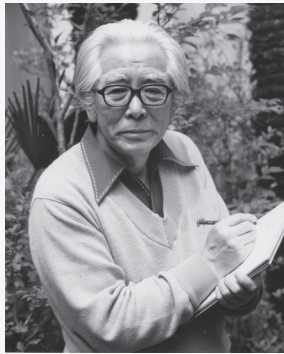


写真:個人蔵

愛知県田原市に生まれる。愛知県立成章中学校(現在の成章高等学校)在学中に洋画家・細井文次郎に洋画を学ぶ。1929年、旧満州(現在の中国東北部)に渡り、満洲教育専門学校植物学教室にて大賀一郎に師事し植物画の道に進む。また、牧野富太郎から描画材料を贈られ、指導を受ける。終戦後ソ連軍の捕虜となり中央アジアに抑留され、1948年に帰国。帰国後は教科書や図鑑の植物画を数多く手がける。1970年、日本ボタニカルアート協会を創立。主な著書は『原色日本のラン』、『日本桜集』、『さくら』など。

大井 次三郎(1905-1977)

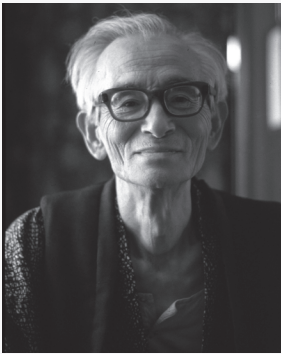
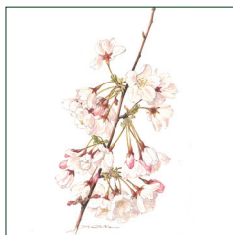


写真:東京都立大学牧野標本館

東京都江東区に生まれる。1930年、京都帝国大学(現在の京都大学)農学部を卒業。小泉源一の指導を受ける。京都帝国大学、ボイテンゾルグ植物園(現在のインドネシア・ボゴール植物園)を経て、国立科学博物館に勤務する。国立科学博物館名誉館員。イネ科、カヤツリグサ科などの分類に関する数多くの論文を発表するとともに、日本の維管束植物全般の分類に関する知見を総括した『日本植物誌』を出版。国際的に高い評価を受けて英語版も刊行された。1971年、朝日文化賞を受賞した。



すべて
太田洋愛作
上段左:「アメリカ」
上段中:「天城吉野」
上段右:ヤマザクラ
下段左:「鞍桜」
下段右:キンキマメザクラ

交通ガイド

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ銀座線・日比谷線
「上野駅」から徒歩10分
 - 京成電鉄
「京成上野駅」から徒歩10分
- ※当館には駐車場および駐輪場はありません。

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL: 050-5541-8600(ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898



関連イベント情報・入館方法の詳細等については、
当館ホームページをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/>

